

この度はデジタル替アンビル式外側マイクロメータをお買上げ頂きありがとうございます。
ご使用前に、本書をよくお読み頂き正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。

特長

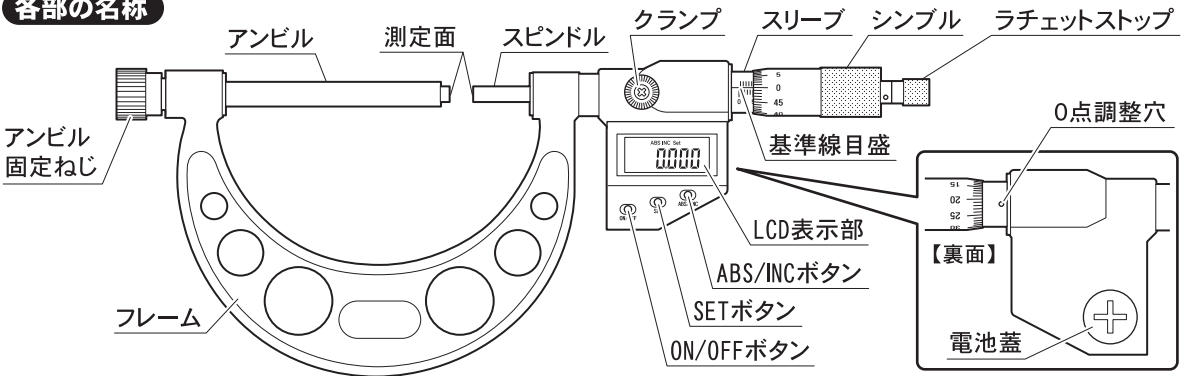
- アンビルを交換することで、1個の本体で測定範囲を広くすることができます。
- 定圧装置・測定面超硬チップ付
- オートディスプレイオフ機能付(約5分)
- 替アンビル…4本(0、25、50、75mm)
- 基準棒…MCD136-100:3本(25、50、75mm)
MCD136-200:4本(100、125、150、175mm)

仕様

	測定範囲 (mm)	最小読取値 (mm)	最大許容誤差 (μm)
MCD136-100	0-100	0.001	6
MCD136-200	100-200	0.001	8

※最大許容誤差は量子化誤差(±1カウント)を含みません。

各部の名称



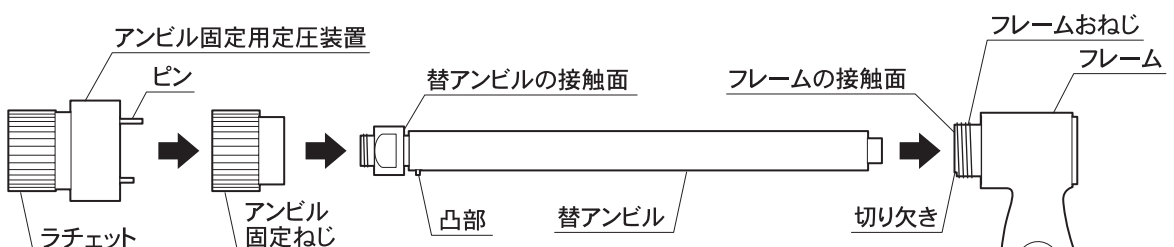
付属品



替アンビルの取付方法

※替アンビル固定時の締付トルクを一定とし、締付力のばらつきによる誤差を防ぐため、替アンビルの取り付けには付属のアンビル固定用定圧装置を必ずご使用ください。

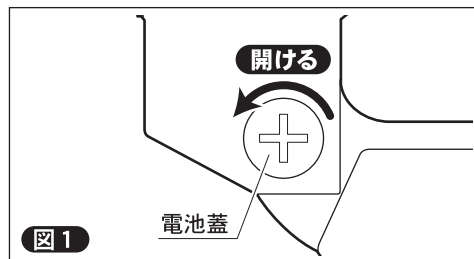
- ①アンビル固定ねじを回して、フレームから取り外してください。
- ②測定範囲に応じた替アンビルを選び、替アンビルの凸部がフレームおねじの切り欠きに合う向きで差し込んでください。
※この時、フレームとアンビルの接触面にゴミなどを挟み込まないように、必要に応じて洗浄などを行ってください。
- ③アンビル固定ねじをフレームにゆるく取り付け、仮固定してください。
- ④アンビル固定用定圧装置のピンをアンビル固定ねじの穴に差し込んでください。
- ⑤アンビル固定用定圧装置のラチェットを回して締め、2~3回『カチカチ』と鳴ったら取り付け完了です。
アンビル固定用定圧装置をアンビル固定ねじから抜いて取り外してください。
※アンビルの交換後は必ず、裏面の『0点の調整』に従って0点の再調整を行ってください。



使用方法は裏面へ→

電池の入れ方

- ① 本体裏面の電池蓋を、コインなどで回して開けます。 **図1**
- ② 電池を必ず(+)側を表にしてセットしてください。
- ③ 電池蓋を元通りに装着してください。



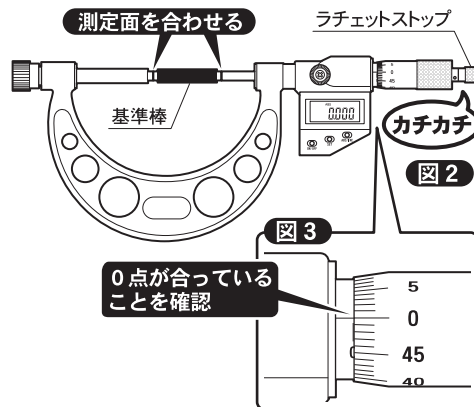
電源

ON/OFFボタンを押すと電源がONになり、LCD表示部に数値が表示されます。もう一度押すと電源がOFFになります。

0点の調整

通常測定で使用する原点を設定します。この原点は、電源をOFFにしても記憶されますので、毎回設定し直す必要はありません。電池交換後はリセットされますので、再度設定し直してください。

- ① アンビル・スピンドルの測定面を脱脂し、グラスペーパーなどで拭き取って異物が付着していない状態にしてください。
- ② 測定面の間に付属の基準棒をはさみます。
(MCD136-100に75mmの替アンビルが取り付けられている場合、基準棒は不要です) クランプを回してゆるめ、ラチェットストップを持って回し、測定面で基準棒をはさんでください。基準棒をはさんでから、ラチェットが『カチカチ』と鳴った所から1回転半~2回転程回し、停止してください。 **図2**

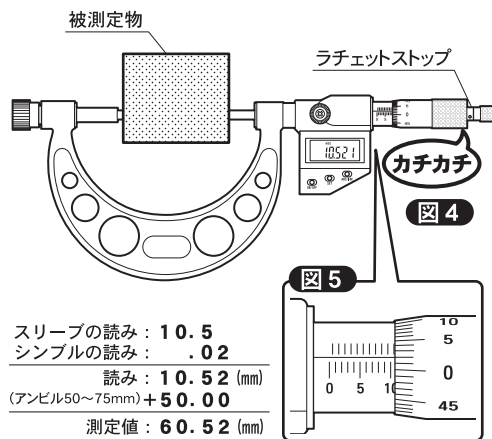


- ③ 基準線目盛の『0』にシンプルの『0』目盛が一致していれば、スリーブ・シンプルの0点が合っています。 **図3**
一致していない場合は、下記の手順で0点を合わせてください。
 1. クランプを回してシンプルを固定する。
 2. キースパナをスリーブ裏面の0点調整穴に入れる。
 3. 0点が一致するまで、キースパナでスリーブを回す。

- ④ SETボタンを2秒以上長押ししてください。
LCD表示部に『Set』が0.5秒ほど点灯後、数字の表示が下記のように表示されます。

● MCD136-100.....0.000 ● MCD136-200.....100.000

これで測定の前準備ができました。



スリーブの読み: 10.5
シンプルの読み: .02
読み: 10.52 (mm)
(アンビル50~75mm)+50.00
測定値: 60.52 (mm)

使用方法

- ① アンビル・スピンドルの測定面を脱脂し、グラスペーパーなどで拭き取って異物が付着していない状態にしてください。
- ② アンビルとスピンドルの間に被測定物を入れます。
- ③ クランプを回してゆるめ、ラチェットストップを持って回し、測定面で被測定物を挟みます。ラチェットが『カチカチ』と鳴った所から1回転半~2回転程回し、停止してください。 **図4**

- ④ LCD表示部に表示された数値に、取り付けられている替アンビルの測定範囲の最小値を足した値が、測定値となります。
※通常のマイクロメータ同様にスリーブとシンプルの目盛を読み取ることもできます。 **図5**

INC/ゼロ

ABS/INCボタンを押すことで、原点を維持したまま表示をゼロリセットすることができます。比較測定などに便利です。原点からの測定値に戻りたい場合は、再度ABS/INCボタンを押してください。

注意

- ご使用の前に、必ずグラスペーパーなどで測定面の汚れを除去してください。
- 測定範囲の上限を3mm以上上回って、シンプルを回さないでください。
- 精密機器ですので、落としたりぶついたり、強い力を加えたりしないでください。
- 直射日光の当たる場所や炎天下の車の中、火のそばなどでの使用、保管はしないでください。
- 水や油のかかるところで使用しないでください。
- 分解・改造をしないでください。
- 使用後は柔らかい布などでゴミや切粉などを取り除き、防錆油を塗布してお子様手の届かない場所へ保管してください。
- 本体の手入れに有機溶剤を使用しないでください。
- 用途以外のご使用は、事故やけがの原因となりますので絶対におやめください。

トラブルと対応

トラブルの内容	対応策
測定値が間違っている	<ul style="list-style-type: none"> ● 測定面の汚れをグラスペーパーなどで拭き取ってください。 ● 0点があっているか確認し、ゼロボタンを押してください。
<ul style="list-style-type: none"> ● LCD表示部に何も表示されない ● 表示が安定しない ● 表示が不明確である 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池を入れ直してください。 ● 新しい電池と交換してください。

※症状が改善されない場合や不明な点がございましたらお買い上げの販売店、または発売元までご連絡ください。
※お問い合わせや、ご連絡が無いまま直接発売元に修理品などを送付されても処理、対応ができない場合がありますのでご了承ください。

品質システム
ISO 9001 認証取得
発売元 **新潟精機株式会社**
〒952-0003 新潟県三条市豊野目6丁目15番20号
TEL 025(3)31-5660 FAX 025(3)39-7730
URL <http://www.sokuteikougu.com>